

関門海峡の港町、門司港でビール会。



「和装家元」 福岡 峇上幸子 家元



今年の春期生と「動き出す浮世絵展」へ。

和装家 家元便り

全国で和装家を育てている「和装家家元」から届いた写真便りを紹介します。



日本和装の創業記念日に大相撲名古屋場所に行くことが恒例です。



1300年も続く木曽川の鵜飼いに行ってきました。



大阪・関西万博へ「きもの姿をほめられました」



「松浦会」 名古屋 松浦恵美子 家元



日本和装開催のブリリアンツ全国大会で。



「私の中で、きものが『着たい物』から『広めたい物』に変わったのは」
家元 鈴木晴子さん（日本和装所屬岡山局所屬講師 講師歴13年）
2006年に素晴らしい師と出会い、私の中できものが『着たい物』から『広めたい物』に変わりました。先人たちの知恵や歴史、それを繋いできた職人さんの技術が詰まった、と言えは何とも重みのある着物、を、軽やかに美しく纏って、魅力を感じていきたいです。好きなことは、食べることと寝ること。飲む事も好きなので、体重チェックは重要な日課です。京都きものバスポートのような特典が岡山にも出来たらいいなあと妄想しながら、これからの和装家の皆さんと、一緒に、きもので食べて飲んでお出かけを楽しんでいます！

家元・都筑尚美さん（日本和装講師歴25年 自宅での日本舞踊を含めると約28年）
講師の都筑尚美と申します。日本和装のお手伝いをして20数年が過ぎようとしています。今はさいたま、新潟、東京、群馬とお教室の担当をさせて頂いております。新潟は移動時間の方がお稽古時間より長く、2メートル以上の雪も積もりますが、皆様がつても暖かく私を迎えてくださり、お着物大好きになってくださいました。さいたまも皆様真面目にお休みしません。東京の生徒さんも長く来てくださっています。群馬は20数年以上のお付き合いの方々が増えています。生徒さんにはげまされ、皆様に支えられ今迄講師を続けてくる事が出来ています。感謝です。これから先、和装家の方々が沢山増えて世界遺産につながる一助が出来たらと思っています。

和装家 家元 WASOUKAIEMOTO

私たちは和装家を増やすことで、きものを世界遺産になることを応援しています。



「最近増えた楽しみ、それはタップダンス。実は体育会系なのです」
家元 松浦恵美子さん（日本和装名古屋所屬講師 講師歴18年）
光栄にも、和装家家元のお役目を頂戴しております。家元の役目は、和装家の価値を伝えて登録いただくことだと思っています。折角、美しく着られるようになられたので、着る機会を作ることも私の使命だと思います。皆さん、一緒に楽しみましょう。
最近の私の楽しみは、年に二度の海外旅行！もう一つ増えましたよ、タップダンス。実は、体育会系なのです。どこかで披露できるかな？